

みしま



2011
6

広報みしま No. 219

モットーは
「ガラス張りの町政」

二瓶隆司町長

二瓶隆司氏、初当選



武地葉子主事から花束を受け取り、全職員に出迎えられて初登庁した二瓶隆司町長（5月17日）

8年ぶりの選挙戦となった三島町長選挙は5月10日告示、5月15日に投票が行われ、元町議会議員の二瓶隆司氏（71歳・川井）が初当選しました。

町長選は齋藤茂樹町長の退任に伴って行われ、二瓶氏と元町総括参事の五十嵐政人氏（58歳・大谷）の二人が立候補。選挙カーで町内を回るなど、5日間の熱い選挙戦を繰り広げました。

投票は15日午前7時から午後6時まで各投票所で行われ、町民の皆さんがリーダーを決める一票を投じました。開票は同日午後7時30分から町民センター大ホールで行われ、各候補者の支持者などが新しい町長の決定を見守りました。約1時間の慎重な開票作業の結果、午後8時30分ご

五十嵐健二氏 無投票で初当選

ろ二瓶氏の当選が決まりました。票差は75票の接戦でした。選挙当日の有権者数は1782人（男833人、女949人）、投票者数は1579人（男743人、女836人）、有効投票数は1559票、投票率は88.61%（男89.20%、女88.09%）。平成15年の町長選の93.63%を5%ほど下回りました。

二瓶氏は昭和51年に町議会議員に初当選。以後、連続6期当選し、最後の4年間は議長を務めました。平成15年の町長選に挑みましたが落選。今回は町政刷新を求める支持者の熱い要請を受けて立候補し、念願を達成しました。

町議会は平成22年3月に齋藤史朗議員の死去により、一人空席の状態が続いていましたが、五十嵐氏の当選により、空席なしの定数8人となりました。五十嵐氏は木工所を営みながら、町消防団幹部としても活躍中。「地域の皆さんの声を多く聞き、できる限り町政に反映させたい」と話しています。

二瓶隆司氏と五十嵐健二氏に対する当選証書付与式は5月16日、町民センターで行われ、町選挙管理委員会の長谷川四平委員長からそれぞれ当選証書が手渡されました。長谷川委員長は「地域経済は厳しさを増し、少子高齢化も著しく、課題は山積しています。町民目線での町づくりを要望いたします」と述べました。

三島町長選挙の開票結果

候補者名	得票数	当日有権者数	1,782人
当選 二瓶隆司	817票	期日前投票者数	344人
		投票所における投票者数 (不在者投票含む)	1,235人
		棄権者数	203人
		投票総数	1,579票
		投票率	88.61%
		有効投票	1,559票
		無効投票	20票

区分	選挙当日有権者数			投票者数			投票率		
投票区	男	女	計	男	女	計	男	女	計
宮下	205	274	479	175	217	392	85.37%	79.20%	81.84%
大登	34	43	77	30	41	71	88.24%	95.35%	92.21%
川井	44	48	92	42	44	86	95.45%	91.67%	93.48%
桧原	59	63	122	54	58	112	91.53%	92.06%	91.80%
滝谷	60	66	126	52	62	114	86.67%	93.94%	90.48%
大谷	52	53	105	48	48	96	92.31%	90.57%	91.43%
浅岐	28	24	52	23	23	46	82.14%	95.83%	88.46%
間方	40	35	75	34	31	65	85.00%	88.57%	88.67%
西方	133	157	290	119	141	260	89.47%	89.81%	89.66%
大石田	76	79	155	71	70	141	93.42%	88.61%	90.97%
名入	36	43	79	34	40	74	94.44%	93.02%	93.67%
高清水	27	25	52	27	24	51	100%	96.00%	98.08%
滝原	18	20	38	18	20	38	100%	100%	100%
早戸	21	19	40	16	17	33	76.19%	89.47%	82.50%
計	833	949	1,782	743	836	1,579	89.20%	88.09%	88.61%



町議員に初当選した 五十嵐 健二氏

県立会津工業高校卒。町商工会青年部長、三島中PTA会長などを歴任。現在、町消防団第一副分団長、町体育協会副会長、町交通安全協会副会長、町商工会理事。宮下字米子沢の自宅で木工所を営む。昭和30年生まれ。56歳



町選挙管理委員会の長谷川四平委員長から当選証書を受ける二瓶隆司町長

二瓶隆司町長の就任式は5月17日、町民センターで行われました。二瓶町長は「東日本大震災の発生により地方財政は危機的な状況で、強い焦燥感を感じていますが、何ものにも屈しない所存です。少ない財源で努力しなければなりません。職員は和を大切に、公僕であることを意識して日々の業務に当たってください。町民本位、人間性豊かな町づくりのために、山積する諸問題を解決していきましよう」と訓示を述べました。

北館長一教育長が職員を代表して「職員一同心より歓迎します。6期24年の町議の経験をもとに町づくりを導いてください。我々職員は誠心誠意、町民目線での業務に心掛けていきます」と歓迎の言葉を述べました。

課題が山積する中でどのような町づくりを進めるか。初当選した二瓶隆司町長と五十嵐健二議員には大きな期待が寄せられています。二瓶隆司町長の任期は、平成27年5月16日までの4年間、五十嵐健二議員の任期は、残任期間の平成24年5月10日までです。

Special Interview

二瓶隆司町長

町民本位 ガラス張りの、しがらみのない政治 大胆に進めたい

——最も重要な課題は何ですか？

一番は会津桐タンス株式会社とふるさと振興公社（ふるさと荘）の経営難の問題です。一般の町民の方々は実情を知りません。町が出資している企業として、もっと分かりやすく経営状態を公表しなければならぬと思います。支持者の皆さんからの要望も受けています。「ガラス張りの行政」として改善したいと思っています。

——どのように経営改善を図りますか？

桐タンスは自慢の特産品です。いいものは作っています。何とかして残していきたい。そのためにはいかに売っていくかが重要です。売らなければ給料は払えないのです。人件費についても見直さなければなりません。この問題が第一の急務と考えています。できるだけ早くめどを付けたいと思います。

創出が考えられます。

良いところは伸ばしていきたいと思います。地域資源を活かした観光コース作りなどが有効だと思います。その中で若い人の職場が少しでもできればと思っています。働く場所が少ないことが大きな課題。振興計画に書いてみても、現実には厳しい。町民の声を聞き、みんなで考えていきたいと思っています。町職員にはアイデアを出し合って伸び伸びと働いてもらいます。

——昨年、奥会津振興センターが発足しました。広域連携の取り組みとしては？

ネットワークを広げていくことは重要です。奥会津、全会津が連携して地域課題に取り組むことは不可欠です。森の校舎力タクリなどを活用した滞在型の観光など、広域的な視点で進めます。

——三島町は行政出身者の町政が続いてきました。民間の立場としてどんな町政を目指しますか？

やはり会津桐タンス株式会社とふるさと荘の改革。大胆に進めたいと思います。OBにはなかなかできなかったこともあると思います。憎まれるのも覚悟でやっていきます。そのために町長になったのですから。しがらみのない町政を実現したいと思います。

「九仞の功を一簣に虧く」

長年の努力も、たった一つの失敗によって不成功になってしまうという意味です。判断を誤ることのない町政を進めます。

——高齢者の多い町ですが、どのような施策を考えていますか？

町には県立宮下病院や特別養護老人ホーム桐寿苑など、一定の医療・介護の体制が整備されています。できれば桐寿苑の定員を増やしたい。入所を待っている人がたくさんいます。また、介護状態になる前にケアする施設も必要と考えています。お金のかかることです。ので財政状況を見ながら検討してまいります。

——町の人口は2000人を割ってしまいました。定住や雇用の問題についてはどう考えますか？

企業誘致も難しい時代です。職場を作ることは本当に困難な課題です。まずは町内の事業者を支援していくことが大事だと思います。また、短期的な対策としては、町内での各種労務などの雇用

PROFILE

二瓶隆司 町長

昭和15年生まれ。71歳

県立会津農林高校卒。昭和51年、町議会議員に初当選。以後、連続6期当選し、桐材業を営みながら町づくりに尽力した。最後の4年間は議長を務めた。町商工会理事、会津桐材共同組合理事、会津桐材共同組合中部支部長、三島町外二町一ヶ村衛生処理組合議長、両沼町村議会副議長などを歴任。川井字下仲ノ原の自宅で妻・幸子さんと二人暮らし





職員 40 人
一人一人が主役です。
努力は裏切りません。

地域政策課
美しい村づくり班
(地区支援・広報担当)
北舘亮主査
採用 11 年目

真つすぐに人と向き合い
わたしたちと一緒に
働きませんか



一緒に楽しく
仕事をしましょう。
明るい人、大募集です。

町民課
(保健福祉担当)
大場まゆみ主事
採用 3 年目

三島町職員（大学卒）採用候補者試験案内

平成 24 年 4 月採用

- 試験職種 一般事務
- 受験資格 昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた者で
4 年生大学を卒業または平成 24 年 3 月までに卒業見込みの者
- 採用予定 若干名
- 一次試験 7 月 24 日㊦
- 試験場所 福島大学（福島市金谷川 1 番地）
- 受付期間 6 月 24 日㊫まで
※郵送による申し込みは 6 月 23 日㊫までの消印に限る

※申し込み方法、その他不明な点は下記までお問い合わせください。

問三島町役場 総務課 総務係 ☎ 0241 (48) 5511

三島町ホームページに詳しい試験案内が掲載されています。
<http://www.town.mishima.fukushima.jp/>



町のテレビ放送加入
申し込みを行った約
350 世帯のテレビに
ケーブルがつながれ
ました。現在、試験
放送の準備中です。

町のテレビ放送 ただいま準備中です

さらに町内無料テレビ電話
今年度、全世帯に設置

町では光ファイバーケー
ブルを活用したテレビ放送設備
の整備を進めています。希望
世帯へのケーブル接続は昨年
度に完了する予定でしたが、
東日本大震災の影響により工
事が遅れました。5 月末まで
にほぼ終了し、地上デジタル
放送、NHK 衛星デジタル放
送の試験送信を順次始めてい
ます。また、地上デジタル放
送対応のテレビがない世帯に
は、アナログ放送に変換して
送信するデジタル変換で、従
来のテレビでも視聴できるよ
う整備しています（㉔アナロ
グへの変換送信は平成 27 年 3
月までの予定です）。

さらに、町の自主放送チャ
ンネルが設定されます。町の
話題や町議会などの番組を自
主制作する準備を進めていま
す。現在は試験放送の準備中
のため、風景や行事などの画
像を流しています。

本放送開始は今年 10 月の予
定で、デジタル放送の再送信、
デジタル変換、町の自主放送
全ての込みの視聴料は月額
500 円を予定しています。
皆さんの役に立ち、楽しみと
なるような放送を行い、多く

●町のテレビ放送 視聴料／月額 500 円（予定）

1	デジタル放送 の再送信	デジタル放送対応のテレビで、地 上デジタル放送と*NHK 衛星デジ タル放送を見ることができます。
2	地上デジタル 放送をアナロ グ放送に変換 して送信（デ ジアナ変換）	従来のアナログテレビでも地上デ ジタル放送を見ることができます。 ㉔平成 27 年 3 月までの予定です。 それ以降はデジタル放送対応のテ レビが必要となります。
3	町の自主放送	町の話題、町議会など町独自の番 組を放送します。

※ NHK の受信料は従来通り、NHK に直接お支払いいただけます。なお、
衛星放送を希望された場合は、料金体系が変わりますのでご注意ください。

●町内無料テレビ電話

1	町内無料 テレビ電話	町内への通話が無料となります。 町外への電話はできませんので、 従来の電話機と併用することにな ります。
2	防災情報 お知らせ情報	災害時の緊急放送、町からの各種 お知らせ放送などを受信します。

（設置料、利用料はかかりません）

の世帯に加入していただけるよ
う努めていきます。

さらに町では今年度、町内無
料テレビ電話を全世帯に設置し
ます。町内の通話は無料となり、
さらに災害時の緊急放送や各種
お知らせなどを受信する機能を
兼ねます。現在使用している防
災無線の戸別受信機に代わり、
雑音がなく聞き取りやすい音声
を受信できるようになります。
工事の際は業者が各世帯に伺い
ます。日程が決まり次第お知ら
せしますのでご協力をお願いし
ます。



役場内に整備中のセンター設備



菅家政義会長から表彰された永年勤続優良従業員の方々

震災に負けず、町経済の回復を目指して 第 50 回三島町商工会通常総会

第 50 回三島町商工会通常総会は 5 月 18 日に行われ、約 60 人の会員が出席しました。菅家政義会長のあいさつの後、二瓶正和さん、小柴幸江さん、齋藤竹彦さん、諏訪喜作さん、鈴木蓮美さん、角田直美さんが永年勤続優良従業員として表彰されました。その後、二瓶隆司町長が「がんばろう福島・三島を合言葉に積極的な事業展開をお願いします」と祝辞を述べました。



重機と手作業で庭造りをする宮下地区の皆さん

「街全体を庭のように」が目標 宮下地区の街並み景観づくり

宮下地区の民家の庭造りは 5 月 22 日、同地区有志によって行われました。板橋充是さん（宮下）の自宅庭をモデルとして、植木の配置換えや花壇の造成などを行いました。宮下地区では庭先や小路を生かした景観形成を目指しています。部落委員の佐久間宗一さんは「皆さんの理解を得ながら、地区全体を庭のようにする運動を広げたいです」と話しています。



交流センター山びこで行われた「幸せの経済学」上映会

現代の生活を考え直すきっかけに 「幸せの経済学」の上映会

ドキュメンタリー映画「幸せの経済学」の上映会は 5 月 22 日、交流センター山びこで開催され、約 70 人が来場しました。この映画は大量消費社会が引き起こす、地域コミュニティの崩壊や経済の衰退などの問題を提起しています。上映会には若い世代も会津各地から集まりました。上映後は交流会が開かれ、来場者は原発事故の問題や農業などについて話し合いました。



西方地区での要望現地調査

危険箇所など現地の状況を確認 各地区の要望現地調査

各地区の要望現地調査は 5 月 18 日から 23 日にかけて行われ、役場職員が地区役員の案内により要望箇所を確認して回りました。西方地区では消防堤防護柵の設置や危険箇所の対策、街なか広場の整備などが要望され、職員が現地の写真撮影と聞き取りにより調査しました。町では対応可能なものは早期に実施し、大きな予算が必要なものについては国・県への要望を行います。



宮下館墓地で行われた竣工式

生まれ変わって新たな憩いの場に 宮下館墓地改廃記念碑竣工式

宮下館墓地改廃記念碑の竣工式は 5 月 6 日に行われ、地権者などが参列しました。同墓地の改廃整備は宮下地区の長年の願いでした。関係者の尽力で着工に至り、記念碑が建てられました。地権者代表の酒井功さんは「皆さんのお力添えでここまで来ることができました」と語りました。用地は県所有となり、地区住民の話し合いにより公園整備が予定されています。



消防団の法被を着た三島保育所の子どもたち

火事を出さないように気をつけます 幼年消防クラブ結団式

幼年消防クラブ結団式は 5 月 12 日、三島保育所で行われました。園児を代表して星明音里ちゃん（西方）が会津坂下消防署三島出張所の室井秀朗所長から、幼年消防クラブバッジを受け取りました。また、ほし組さんが代表して「うちのひと協力しながら、火事を出さないように気をつけます」と誓いの言葉を述べました。



町民センターで行われた炭化プロジェクト会議

炭入り商品の開発、販路開拓へ 三島町炭化プロジェクト委員会

三島町炭化プロジェクト委員会の平成 23 年度第 1 回会議は 5 月 16 日、町民センターで行われました。同委員会では昨年度、炭化加工機による会津桐炭の生産、分析に取り組み、サプリメントや菓子類など、炭入りの試供品開発や、水道水のろ過を実施。東京での商談会や各種イベントで PR してきました。今後は試供品を改良し、市場性の高い商品の開発、販路開拓を目指します。



西方ふるさとセンター前から町営バスに乗車する児童たち

行ってらっしゃい！車に気をつけてね。 交通安全母の会街頭指導

春の全国交通安全運動は 5 月 11 日から 20 日まで実施され、西方地区では街頭指導が行われました。町交通安全母の会西方支部の皆さんが、交代で旧西方駐在所前と西方ふるさとセンター前の街頭に立ち、町営バスで登校する子どもたちを見守りました。街頭指導は同支部員 59 人が交代で毎朝実施し、子どもたちが交通事故に遭わないよう注意を促しました。

保健推進員が決まりました

健康相談 お気軽に

保健推進員会は4月24日、町民センターで行われ、各地区の保健推進員29人が町から委嘱されました。会長には五十嵐純子さん（大登）、副会長には鈴木タカ子さん（小山）が選出されました。保健推進員は健康増進のための活動を行っています。各地区の保健推進員は下記のとおりです。健康に関してご心配なことがありましたら、お気軽に声をお掛けください。

三島町保健推進員名簿

平成23・24年度

地 区	氏 名
宮 下	坂 内 アイ子
宮 下	五十嵐 郁 子
荒屋敷	渡 部 ユキ子
荒屋敷	青 木 節 子
桑 原	菅 家 ふじ子
大 登	五十嵐 純 子
大 登	角 田 信 子
川 井	長谷川 登志子
川 井	角 田 菜穂子
桧 原	海老名 一 子
桧 原	阿 部 弘 子
滝 谷	大 竹 祐 子
滝 谷	目 黒 千 春
大 谷	五十嵐 幸 枝
大 谷	五十嵐 きみい
浅 岐	角 田 ツヤ子
間 方	二 瓶 朋 子
間 方	菅 家 欣 子
西 方	五十嵐 七 重
西 方	山 内 よし子
大石田	中 いみ子
大石田	五十嵐 和 子
名 入	五十嵐 祐 子
名 入	五十嵐 康 子
小 山	鈴 木 タカ子
高 清 水	小 柴 スイ子
滝 原	板 橋 喜代子
早 戸	五十嵐 紀美子
早 戸	五十嵐 絹 子



町民センターで行われた第1回保健推進員会

熊に注意！

クマは一般的に人に対し警戒心が強い動物といわれています。しかし最近では狩猟等圧力の減少、森林環境里山の変化、中山間地域の社会変化などからクマが里へ出やすくなっています。クマとの遭遇を避け、被害を未然に防ぐために次のような心構えが必要です。

1 里を餌場と認識させないために

- (1) 人家の周りにクマの餌となる生ゴミ等を放置しない。
- (2) 人家の周りに収穫しない柿の木などを放置しない。
- (3) ペットフードや家畜の餌を食べていたクマの報告もあるため、ペットフードなどはフードストッカーや納屋などに保管することが望ましい。

2 クマに遭わないようにするために

- (1) 笛や鈴、ラジオなどの音のする物を身につけ、クマに自分の存在を知らせよう行動し、必要に応じて引き返す勇気をもつ。
- (2) クマは夜間や朝夕に活発に行動するため、夜間や早朝、薄暮れ時は特に注意が必要です。朝早くの農作業等は音のするものを身につけるなどして作業する。
- (3) 小クマを見つけたら親クマが近くにいますと考えられるのでそっと立ち去る。

3 出会ったときに興奮しない

興奮させないために

- (1) 遠くにいるのを発見した場合は、あわてずそっと立ち去る。
- (2) クマが興奮するので、大声で叫んだり、石や棒切れを投げつけたりしない。
- (3) クマから目を離せないようにして、できるだけゆっくりと後ずさりしながらクマから離れる。クマとの間に立ち木等の障害物を入れることができる位置に移動することで突進を防ぐこともできる。
- (4) 背中を見せて逃げるとクマは本能的に襲ってくるので、走って逃げない。

☎ 福島県生活環境部自然保護課 ☎ 024 (521) 7210

「三島でも災害は起きる」 東日本大震災の大きな犠牲を胸に

三島町消防団春季検閲式



雨天のため森の校舎カタクリ体育館で行われた三島町消防団春季検閲式

感謝状を受けた退団幹部

職 名	氏 名	勤 続 年 数
前 団 長	金 子 喬	48 年
宮下班元班長	堺 利 彦	28 年
大谷班元班長	五十嵐 三 美	36 年 3 カ月
大谷班元班長	諏 訪 利 晴	24 年
西方班前班長	小 堀 庄太郎	31 年 6 カ月
西方班前副班長	田 中 常 稔	25 年
大登班元班長	五十嵐 義 信	32 年 6 ヶ月



長谷川誠団長から感謝状を受ける金子喬前団長

三島町消防団春季検閲式は5月1日、雨天のため森の校舎カタクリ体育館で行われました。長谷川誠団長は「震災は忘れたころにやってきます。いかなる災害が発生しても消防団の力を発揮し、住民の命と財産を守らなければなりません。任務の重大さを認識し、住民のために尽力をお願いします」と訓示を述べました。その後、金子喬前団長をはじめ退団された7人に感謝状が贈られました。新

入団員は3人、災害時の協力を要請する機能別消防団員41人を合わせ、団員数は163人となりました。検閲式では通常点検、小隊訓練が行われ、団員たちは真剣に取り組んでいました。消防団は最も身近な自主防災組織です。東日本大震災の被災地では、消防団が多くの命を救いました。住民の安全と安心を守るために消防団の力は欠かせません。大災害を想定した訓練と心構えが大切です。



写真上_東京都世田谷区二子玉川
駅前のショッピングセンターで開
催されたフェアで、道の駅尾瀬街
道みしま宿がコゴミ、タラの芽、山
菜加工品などを販売した

写真下_神奈川県横須賀市の三笠
公園で行われた「よこすかカレー
フェスティバル」で、有限会社会
津地鶏みしまやが会津地鶏の焼き
鳥と地鶏カレーを販売した

がんばろう
福島・三島
まげえねぞ〜

風評被害に負けるな 東京と神奈川で 復興支援イベント



前列左から、五十嵐貴則主査（只見町から派遣）、鈴木庄蔵事務局長（三島町）、齋藤誠事務局長（福島
県から派遣）、山口一也（事務局員）、園田美都子（観光ナビゲータ）、後列左から、山内康次主査（昭和村
から派遣）、渡部洋人主査（金山町から派遣）、西原久（観光ナビゲータ）、目黒清志主査（柳津町から派遣）、
小林美香（奥会津ファンクラブ運営員）

「奥会津を元気にしたい」 広域連携で地域課題に取り組む 奥会津振興センター 発足2年目

三島町民センターの一
室に事務所を置いて昨年4
月に発足した奥会津振興セ
ンターは、奥会津五町村活
性化協議会と只見川電源流
域振興協議会の事務局とし
て、広域的な地域づくりを
行っています。同センター
には柳津町、三島町、金山
町、昭和村、只見町の5町
村から一人ずつ、福島県か
ら一人が派遣され、その他
運営スタッフと合わせて計
10人が勤務しています。

事業は物産・観光部会、
森林環境整備部会、総務
部会に分かれて行っていま
す。各町村の会場での会議
やワークショップなどを実
施しながら、民間業者や住
民を交えた広域連携の体制
作りを進めています。物産・
観光部会では東京のNPO
法人ふるさと往来クラブと
連携し、「物産・観光トラ
イアルinTOKYO事業」
などに取り組みます。奥会
津ファンを増やすためのP
Rや交流事業、農村体験の
受け入れ体制整備、新商品
のテスト販売などを通じ、

奥会津の物産と観光の活性
化を目指します。担当の目
黒清志主査（柳津町から派
遣）は「奥会津のいいもの
を多くの人に知っていただ
き、地域を元気にすること
ができればと思います。町
村の枠を超えた事業を実施
していきますので、地域の
皆さんにはご協力をお願い
します」と話しています。

そのほか、木質バイオマ
ス活用の検討、国道整備の
要望活動、道路などの危機
管理計画の検討などを進め
るとともに、地域課題の洗
い出し作業を行っていきま
す。

よこすかカレーフェスティ バル

福島第一原子力発電所の
事故の影響による風評被害
が深刻になる中、各地で復
興支援イベントが行われて
います。三島町からも首都
圏などに出向き、地場産
品の販売や観光PR活動を
行っています。

二子玉川ライズ・ショッピ ングセンター「がんばろう ふくしま！」応援フェア

当フェアは、5月7・8
日に行われました。東京急
行電鉄株式会社をはじめと
する東急グループなどの協
力で、東京都世田谷区の二
子玉川駅前で開催されまし
た。福島県の各地から出店
があり、三島町からは道の
駅尾瀬街道みしま宿が参
加。コゴミ、タラの芽、山
菜加工品などを販売し、会
津の安全な農産物をアピー
ルしました。多くの来客で
賑わい、まさに飛ぶような
売れ行き。用意した商品は
午後に入って間もなく完売
しました。

当日イベントは5月7・8
日に神奈川県横須賀市の三
笠公園で行われ、多くの観
光客で賑わいました。三島
町からは会津地鶏みしまや
が、会津地鶏の焼き鳥と地
鶏カレーを販売しました。

福島、宮城、茨城、千葉な
ど東日本大震災の被災地か
らも計6市が参加し、復興
に向かって物産や観光のP
Rを実施しました。初日は
あいにくの雨でしたが、被
災地を応援してくださる
人々が多数訪れました。2
日目は晴天に恵まれ、昼前
には完売するほどの賑わい
でした。

三島町では今後も復興支
援イベントに参加する予定
です。原発事故のいち早い
解決と風評被害がなくなる
ことを願いながら、全国の
消費者の方々に正しい情報
を発信し、物産・観光の安
全安心をPRしていきたい
と思います。

三島の民話

第三話

ぜに長者



西隆寺の裏
岩倉山の上り口（西方）

三島町には数え切れないほど多くの民話があります。本に残された話、語り継がれてきた話、忘れられようとしている話……。ここでは三島町に残る昔話や伝説、世間話などを紹介します。

三島町西隆寺のうら山のふもとに樹齢五百年もする高野槇が一本ある。下枝はこんもり繁つて、ふくろうとむささびの丁度よいねぐらになっている。昼でも薄暗く、蓬魔が刻になると苦しげなうめき声で「オブサリデー」とわめく声がするもんだから誰も近付かなかった。もう何十年も前から、おぶさりてえ化け物が巣くつていたが、別に悪さはしなかった。間抜けで臆病太兵衛が岩倉山からの薪切りから帰って来るとき、丁度蓬魔が刻に槇の下を通る。ビクビクして「おぶさりてー出るなよ」一心にコンピラサマを頼んで通りかかると「おぶさりてー太兵衛おぶさりてー」「で…で…でやがった」足が大地に釘付になり、

肝っ玉がでんぐり返つてのどにつかえた。もうどうにでもなれと捨て鉢にどなった。「お…おぶさりたかつたらおぶされッ！」ザワザワ枝葉を鳴らしてドサツと音がした。おぶさりてえ化け物が太兵衛の背中におぶさった。足が土にめり込むほど重かった。ヨタヨタ背負つて家の土間にほり込んだら、何やらギャランギャランと変な鳴き声がした。ガツクリ力が抜けてねむってしまった。やかましい小鳥の声で目をさましたら驚いた。朝日にかがやいて、土間はお金がいっぱい広がっている。太兵衛は長者になってお宮やお寺を建てたが、何処かに沢山お金を埋めたことになっている。しかし誰も探し当てた者はいない。

遠藤太禪・著「奥会津山里民話」より

行政相談

お気軽にご相談ください

行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、役所（国・県・市町村）の仕事をはじめ、NTTなどの特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、町民の皆さんと関係行政機関との間に立って、その解決のお手伝いをしています。

【定例行政相談】

●日時 毎月第3水曜日（祝日のときは翌日）
午前10時～午後3時

●場所 町民センター談話室

※都合により変更となる場合もありますので、あらかじめご連絡ください。

●三島町行政相談員 小柴ヨシノ ☎（52）2480
役場 総務課 ☎（48）5511

歳時記 萌の会

放射能しばし忘れて初鰹

一村の色染め替えて芽吹雨

武者織立てて軒場に草筆り

四方の山ゆるりゆるりと笑いけり

花の旅子に手を借され老を知る

志田 たつの

小平 佳子

佐藤 朋良子

小柴 盛雄

片山 祐一

避難者と別れの朝や春の山

近づけば山立ち上る五月かな

風の息読んで老翁織り立て

郵便屋沈丁花の香置いて行く

鶯の啼きそこないて枝を代え

栗城 幸子

小柴 六進子

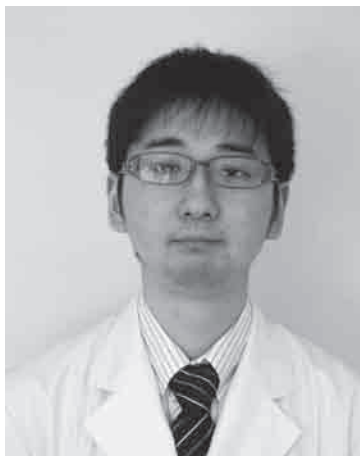
諸井 まさ子

栗城 幸子

宮下病院からのお知らせ

新しい先生が着任しました

新任医師紹介



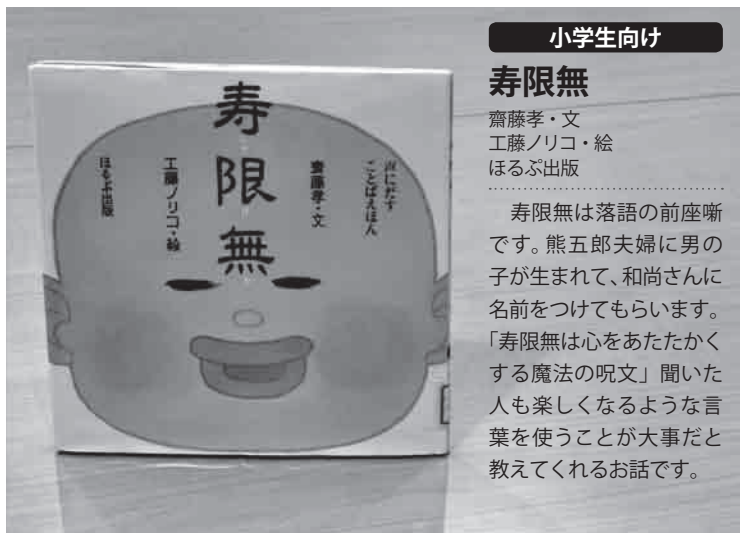
かしわぎ まさひと
柏木 真人先生

- 専門分野 内科
- 出身校 自治医科大学

この4月より着任いたしました、柏木真人（かしわぎ まさひと）と申します。生まれは須賀川市で、高校までを過ごし、大学は自治医科大学に入学し、栃木で6年間を過ごしました。大学卒業後は、福島県立医科大学で2年間の初期研修を行い、ちょうどこの3月で研修を修了いたしました。研修最後の1ヶ月は外科で研修を行っていましたが、地震の当日はちょうど手術の最中であり、麻酔がかかり開腹された患者の前で部屋が大きく揺れる恐怖や、その後の断水、停電、物品の不足等、この1ヶ月で様々な経験をしたと感じています。幸いなことに、件の患者はその後再手術で元気になったようであり、多少の遅れはありましたが、私も無事宮下病院に赴任することができました。至らない点は多々あると思いますが、皆様とともに歩んでゆけるよう日々努力したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

- 利用時間 月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00
- お休み 年末年始
- 教育委員会 ☎（48）5599

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと



小学生向け

寿限無

斎藤孝・文
工藤ノリコ・絵
ほるぷ出版

寿限無は落語の前座囃しです。熊五郎夫婦に男の子が生まれて、和尚さんに名前をつけてもらいます。「寿限無は心をあたたくする魔法の呪文」聞いた人も楽しくなるような言葉を使うことが大事だと教えてくれるお話です。

本のリクエスト募集中

読みたい本、おすすめの本などがありましたら、図書コーナー係員にご相談いただくか、所定の用紙に記入してリクエストBOXにご応募ください。教育委員会が検討し、選定された本を購入します。

幼児向け

おほしさま

たちもとみちこ・作絵
教育画劇

こぶたちゃんは、おほしさまの形をしたクッキーを作りました。動物たちは、おほしさまがどういふものか想像し、おほしさまを求めて歩き出します。絵がとっても可愛くて愉快的動物たちのユーモアあふれる絵本です。

小・中学生向け

こどものころにみた空は

工藤直子・詩
松本大洋・絵
理論社

日常の何気ない言葉から、素敵な詩が生まれることに気がかされます。そんな日常の会話を切り取った、どこかなつかしくて愛おしくなるような言葉の詩を、読んでみてください。

これからの行事予定 town schedule

6月11日㊥

年中行事「虫送り」19:00～ 西方・名入地区

6月11日㊥・12日㊤

第25回ふるさと会津工人まつり 9:00～ 生活工芸館前
てわっさの里まつり 9:00～ 宮下町内
第4回山と木の市場 9:00～ 工人まつり会場から徒歩5分

6月15日㊹

教育委員会定例会 15:00～ 町民センター

地域ふれあいサロン

三島町社会福祉協議会

大石田サロン

6月8日㊹ 10:00～ 大石田生活改善センター

川井友愛サロン

6月9日㊹ 10:00～ 川井集会所

ご寄附 ありがとうございました

町へのご寄附

※東日本大震災の義援金としていただきました。

ダム・発電関係市町村全国協議会 様
財団法人 福島民報厚生文化事業団 様
全国町村議会議長会 様
東京書籍株式会社 様
出島プロジェクト 中村有里 様
三島萌の会 様
坂内君子 様
酒井孝喜 様
矢代和夫 様

三島町社会福祉協議会へのご寄附

ご遺志によるもの

小澤清市様（大登）

みんなで健康づくり《保健事業の予定》

☎ 町民課 ☎ (48) 5565

4カ月児健診

6月14日㊹ 11:15～ 坂下厚生総合病院

7月12日㊹ 11:15～ 坂下厚生総合病院

骨粗しょう症健診

6月13日㊹～18日㊥ 9:30～ 齋藤医院

足腰げんき教室

◎室内運動編

6月16日㊹ 13:30～ 町民センター

7月14日㊹ 13:30～ 町民センター

◎水中運動編

6月30日㊹ 13:00 町民センター集合
西会津町民プール

総合検診

6月20日㊹～24日㊤ 8:00 町民センター集合

機能訓練会

6月 8日㊹ 14:00～ 福寿草

7月13日㊹ 14:00～ 福寿草

心の健康相談（※事前申し込み必要）

7月 1日㊤ 13:30～ 福寿草



広報みしま

皆さんからの情報提供を
お待ちしております

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが読者の関心を引き、感動を与えます。

「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。



☎ 地域政策課
美しい村づくり班
☎ (48) 5533

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では4月中、刑法犯は発生しませんでした。

振り込め詐欺に注意！！

～息子を騙るオレオレ詐欺連続発生～
事例1

被害者の70歳代女性は、深夜に息子を名乗る男から電話で「夫と子のいる女性を妊娠させた。示談金100万円が必要になった」と頼まれ、これを信用し、相手口座に現金100万円を送金した。（会津若松市）

事例2

被害者の60歳代女性は、深夜に息子を名乗る男から「のどが腫れている。病院に行ったほうがいいかな」といった電話を受けた。翌日午前「扁桃腺が腫れたらしい。実は女性を妊娠させてしまい堕胎費と弁護士費用で100万円が必要になった」と持ちかけられ、これを信用し指定された口座に現金100万円を送金した。（須賀川市）

被害に遭わないために

～振り込め詐欺犯人からの
電話を見抜くポイント～

①他人であれば通常しない時間帯（早朝、深夜）に電話をかける。
②「扁桃腺が腫れた」などと持ちかけ声質がおかしいと思込ませる。
③翌日に医師の診断結果として電話をかけ直し、本題に入る。
※不審な電話が来たらお近くの警察署・駐在所に通報して下さい。

街頭犯罪発生状況（1～4月）

区分	管内	三島町
空き巣狙い	2	
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗	2	
オートバイ盗		
自転車盗	2	
自販機狙い		
車上狙い	5	
部品狙い	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	12	0
全刑法犯	25	0

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

会津地方産の農産物 出荷制限等の解除

会津農林事務所

会津地方でのブロッコリーやカリフラワーなどの出荷制限および摂取制限、カブの出荷制限が5月18日付けで解除されました。ハウレンソウやコマツナなどの出荷及び摂取制限は、既に5月11日付けで解除されています。現在、会津地方産の野菜や山菜、キノコ類で出荷や摂取が制限されている品目はありません。

今後も、出荷期を迎える野菜や山菜等について、出荷当初にモニタリング検査を行って、安全性を確認していきます。

☎ 会津農林事務所

会津坂下農業普及所

☎ 0242 (82) 2112

金山農業普及所

☎ 0241 (54) 2801

子ども手当 支給継続のお知らせ

役場 町民課

子ども手当は、平成23年4月から9月までの6ヶ月間、これまでと同じ月額1万3千円で引き続き支給されることになりました。

◎支給金額 月額1万3千円

◎支給対象

0歳から15歳になった後の最初の3月31日までの子

③出生などにより、養育する子どもができた方、子どもが増えた方、また、他町村から引越しをされた方は、住まいの市町村への申請手続きが必要です。

☎ 役場 町民課 ☎ (48) 5565

三島町の人口と世帯 （5月1日現在）

人口	2,004	1	出生	1
男	953	0	死亡	3
女	1,051	1	転入	12
世帯	841	-3	転出	9

※住民基本台帳による数値です。

入国警備官 採用試験

仙台入国管理局

仙台入国管理局では、出入国管理行政の第一線で活躍する入国警備官を募集しています。

◎受験資格

昭和63年4月2日～平成6年4月1日生まれの方

◎受付期間

＜インターネット＞

7月19日㊹～7月26日㊹

＜郵送または持参＞

7月19日㊹～8月2日㊹

◎第一次試験

9月25日㊤

申込用紙の請求や、受験資格などの詳しい内容については、仙台入国管理局総務課までご連絡ください。

☎ 仙台入国管理局 総務課

☎ 022 (256) 6076

国家公務員採用 Ⅲ種試験

人事院 東北事務局

人事院では、国家公務員採用Ⅲ種試験を下記の通り実施します。

なお、第一試験地で「いわき市」は廃止となっています。また「電気・情報」、「建築」、「科学」、「農業」の試験区分は休止しています。

◎受験資格

平成2年4月2日～平成6年4月1日生まれの方

◎受付期間

6月21日㊹～6月28日㊹

※受験申込書の提出はできるだけ郵送（簡易書留）にしてください。

◎第一次試験

9月4日㊤

申込用紙の請求や、受験資格などの詳しい内容については、人事院ホームページをご覧ください。

<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

☎ 人事院 東北事務局課 第二試験係

☎ 022 (221) 2022



3

2



1

1_ 会津宮下駅を出発するSLを見送る一日子ども駅長たち。列車が見えなくなるまで敬礼して見送った 2_ 一日子ども車掌が乗客にパンフレットを配った。乗客はかわいい車掌さんの登場にカメラを向けた 3_ 会津宮下駅ではきのこ汁や山菜などが振る舞われた 4_ 会津川口駅でSLを迎える一日子ども駅長



4

沿線ではシャッターチャンスを狙う多くの写真愛好家が見られました。原発事故による風評被害もある中で、今年も大勢のSLファンが奥会津を訪れました。

10周年となったSL会津只見号は5月21日・22日、JR只見線の会津若松駅・只見駅間で運行されました。東日本大震災からの復興の願いを込めて新緑の中を豪快に走り抜け、沿線の各駅では元氣な奥会津をPRするさまざまなおもてなしが実施されました。

三島町では、町観光協会スタッフなどがSL車内に乗り込み、三島マップの配布、桐コースターのプレゼントなどを行いました。また、三島保育所ほし組の子どもたち5人が、一日駅長と一日車掌を務めました。駅長の制服姿の子どもたちは乗客に大人気。次々と写真撮影を頼まれ、そのたびに敬礼のポーズで得意げに笑顔を見せました。会津宮下駅では町民の皆さんが会津地鶏弁当、きのこ汁、山菜などを販売。SLが出発するぎりぎりまで大勢の乗客で賑わいました。

5_ 鉄道ファンを魅了した「SL会津只見号」。10周年記念のヘッドマークが飾られた 6_ 最後に会津宮下駅の井上律駅長と記念撮影。左から、菅家大貴くん（川井）、二瓶教香ちゃん（西方）、星明音里ちゃん（西方）、五十嵐望くん（大谷）、飯塚真林ちゃん（西方）



6



SL 10周年 Topic 2 復興の願いを乗せて



1

1_ 3・4年生による「何が出るかな」途中で拾う紅白玉と校長先生とPTA会長が上げたボンボンの色の組み合わせが、同じだったら「あとかたづけ」箱へ入れてゴールに向かいます 2_ 1年生の80メートル走。スタート直前の緊張の一瞬です 3_ ゴールまであとちょっと！がんばれ！ 4_ 5・6年生による『激闘！三島の乱』自分の陣地へ持ち帰るため決死の闘い 5_ 閉会式で行われたエール交換



2



3



4



5

力を合わせて 手に入れた 最高の勝利 Topic 1 三島小学校運動会

三島小学校運動会は5月21日に行われ、児童たちが勝利を目指して元気に走り回りました。今年のスローガンは「チームで力を合わせ、最高の勝利を手に入れよう」。紅組、白組それぞれが心を一つにして、さまざまな競技と応援合戦を繰り広げました。児童たちの一生懸命な姿に、集まった家族は大きな声援を送り、子や孫の成長を喜びました。朝は肌寒い曇り空だった天候も、児童たちの元気に吹き飛ばされて晴れ渡り、気がつけば絶好の運動会日和。太陽が肌を焦がし、児童たちは日に焼けた元氣な笑顔を見せました。

白井秀行教頭は閉会式で「皆さんの今日一日のチームワークと立派な姿に感動しました」と講評を述べました。結果は266対204で紅組の勝ち。紅組も白組も表情は爽やかでした。

地震と原発事故による暗いニュースが多い中、児童たちは運動会ができる喜びをかみしめ、全力で躍動しました。家族の皆さんも勇気付けられたことでしょう。



7



6

6_ 全校生による綱引き 7_ 4～6年生による組体操「心を合わせて」



3

1_五月晴れの日、道端でゼンマイもみをする菅家アイ子さん 2_アイ子さんのひ孫の菅家諒南くんがゼンマイもみを手伝う。根気のいる作業だ 3_コゴミの余分を切る作業をする菅家ヒロ子さん。「息子が採ってきてくれたよ」とうれしそうにほほ笑む 4_特大のスカリにいっぱいのゼンマイを採ってきた菅家藤一さん。「若いころはもっと背負ったよ」 5_ウルイとニシンを切って味噌汁に。台所には何種類もの山菜がそろう 6_食卓はまさに山菜のフルコース。春の山の香りがいっぱいに広がる



4



5



6



1



2



1



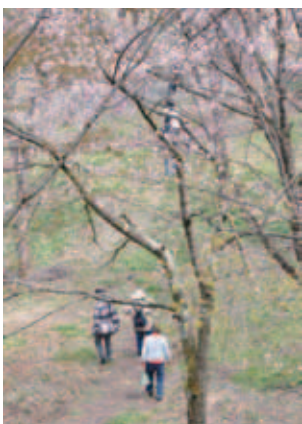
5



4



3



2

1_斜面いっぱいに広がるカタクリの花。奥には咲き始めのオオヤマザクラも見える 2_県内外から花見客が連日訪れ、遊歩道を歩いて野の花を楽しんだ 3_5月5日の子どもの日、半澤政人さん（名入）が絵画ワークショップを開いた。子どもたちが集まり、クレパスで描く不思議な絵を楽しんだ 4_シーズン中、花見客のおもてなしを行った西方カタクリの会の皆さん。味噌団子とおやきは大好評 5_花の見ごろを前に、西方地区の皆さんが遊歩道の整備を行った。住民の協力により毎年きれいな花を見ることが出来る。

Spring-memory2

三島の春

食卓は山菜フルコース。「山の暮らしが好き」 間方地区 山菜の収穫最盛期

間方は山菜の宝庫です。雪解けを迎えた山々は、豊かな恵みをもたらします。

5月中旬、雪が消えたばかりの集落は暑いくらいに気温が上がリ、道端ではゼンマイもみの姿が見られました。ゆでたゼンマイをむしろの上で何度もみ、乾燥させる作業です。

「天日に干して丸4日もむんですよ」と話すのは菅家アイ子さん。嫁いってから50年以上、山菜を採って暮らしてきました。乾燥したゼンマイは硬く縮み、10分の1ほどの量になります。手間をかけた味は、油炒めなどで食卓に上ります。

間方の食卓は、山菜のフルコースです。タラノメやコシアブラは天ぷら、エラやコゴミはゆでてマヨネーズをつけて、ウルイはニシンと味噌汁に…。みんな山から採ってきたものばかり。しかも通常見るものより太く、豊かな自然の養分を感じさせます。

ゼンマイもみを手伝うひ孫の諒南くん（小4）。休みの日には川へ釣りにも行きます。

「ぼく、間方が好き」

大自然は山菜だけでなく、人も健やかに育ててくれます。

Spring-memory1

三島の春

豪雪を乗り越えて、今年も咲いたカタクリ 西方地区 大林ふるさとの山

あれほど降った雪にも負けず、大林ふるさとの山では、今年もたくさんのカタクリの花が顔を出しました。その様子は、斜面一面が薄紫色のじゅうたんのような大群生です。大雪の影響で開花が遅れ、ゴールデンウィークに見ごろとなり、県内外から多くの花見客が訪れました。

大林ふるさとの山は、西方地区の皆さんにより整備が進められてきました。西方共有財産管理会が下草刈りを毎年行っています。また、福島県地域づくり総合支援事業の補助を利用して、カタクリ群生地遊歩道を整備。さらに公園の管理などに役立てるために協力金箱を設けました。今年は集まった協力金により、遊歩道の案内看板を設置しました。

見ごろを前にした4月29日、西方地区の皆さんが遊歩道や駐車場の整備を行いました。開花期間中は西方カタクリの会の皆さんが、お茶、団子、おやきなどを用意し、訪れた花見客にもてなしました。

来年の春もまた、たくさんカタクリの花を期待しながら、季節は初夏を迎えます。

町づくり全力投球53年

齋藤茂樹町長退任



退任式は5月16日に行われ、齋藤茂樹町長に大場まゆみ主事から花束が贈られた。その後、全職員に見送られて退庁し、町職員時代から53年にわたる町づくり人生の区切りとなった。

齋藤茂樹町長の退任式

は5月16日、町民センターで行われました。齋藤町長は「若い皆さんが一致団結して町づくりを進めてほしい」と退任のあいさつを述べました。職員を代表して北館長一教育長は「夢と希望、熱い想いで我々を導いてくださいました。お体に気をつけて、今後の町政を見守ってください」と感謝の言葉を述べました。

齋藤町長は平成7年10月の初当選以来15年8カ月にわたり、町政のトップとして町づくりを先導してきました。昭和33年の役場奉職から数えると53年間、三島町一筋に歩んできました。佐藤長雄前町長から引き継いだ施策をさらに高め、「編み組細工」や「サイノカ

ミ」の国指定を成し遂げるなど、町民の誇りを醸成してきました。町のために必要であれば中央省庁にも何度も足を運び、山村の実情を訴えると同時に、自ら新しい情報を収集して政策を考案しました。持ち前の力強いリーダーシップで職員を引っ張り、時には大声で奮起を促しました。

4月28日には職員に対して最後の講話を行い、町政の歴史を刻んできた自らの経験から、町づくりの理念を語りました。

「いつとときの潤いのための施策ではなく、積み重ね、継続していくことで真の町づくりができます。一発の花火を打ち上げて『ああきれいだ』で終わってしまっ

てはいけません。一番大切な心は、自分たちの暮らしの中にあります。心を形にする町づくりを目指してください。夢を持って、面白く、楽しく、続けていくことです。皆さん夢を持ってください」

書や写真など多彩な能力をさまざまな場面で発揮してきた齋藤町長。「今後は休養しながら、宮下地区の一町民として、いろいろなことに挑戦したいです」と話しました。

